



JR九州へ要望書提出

3月15日、九州旅客鉄道株式会社（JR九州本社）において、福永鉄道事業本部長に新幹線フル規格の早期実現に向けた要望活動を実施しました。

会長の園田裕史市長を始め総勢10名で参加し、「全線フル規格による早期整備」や「車両基地の地域資源としての活用」、「武雄温泉～長崎の周遊と新大村駅への全便停車」を要望しました。

福永本部長は、「協議が一日でも早く合意に至るよう真摯に対応していく。」と応えられ、全便停車に関しては「2つの側面（「拠点間の長距離輸送」と「通勤、通学といった日々のご利用」）のバランスに注視し、利用状況に応じた調整を行えるよう取り組みたい。」と応えられました。

また、車両基地の活用に関しては、「4月10日から毎週水曜日に行われる一般見学を活用し、地元の皆様から愛される観光拠点にしていきたい。」と話されました。



3者意見交換へ

4月26日の定例記者会見において、佐賀県の山口祥義知事が、長崎県とJR九州との意見交換を5月13日に行うことを明らかにしました。

山口知事は、「新幹線整備は、地元の意思に基づいて行うというのがスキームで、原点は地元だ。率直に意見交換をしたい。」と述べたということです。

意見交換当日は、山口知事、長崎県の大石知事、JR九州の古宮洋二社長の出席を想定しており、新鳥栖～武雄温泉間の整備方式だけでなく、交通系ICカードが利用できるエリアの拡大などについても話し合う予定ということです。

発行元 大村市新幹線フル規格促進協議会事務局

大村市商工振興課交通政策室内

〒856-8686 大村市玖島1丁目25番地 TEL 0957-53-4111

E-mail koutsuu@city.omura.nagasaki.jp